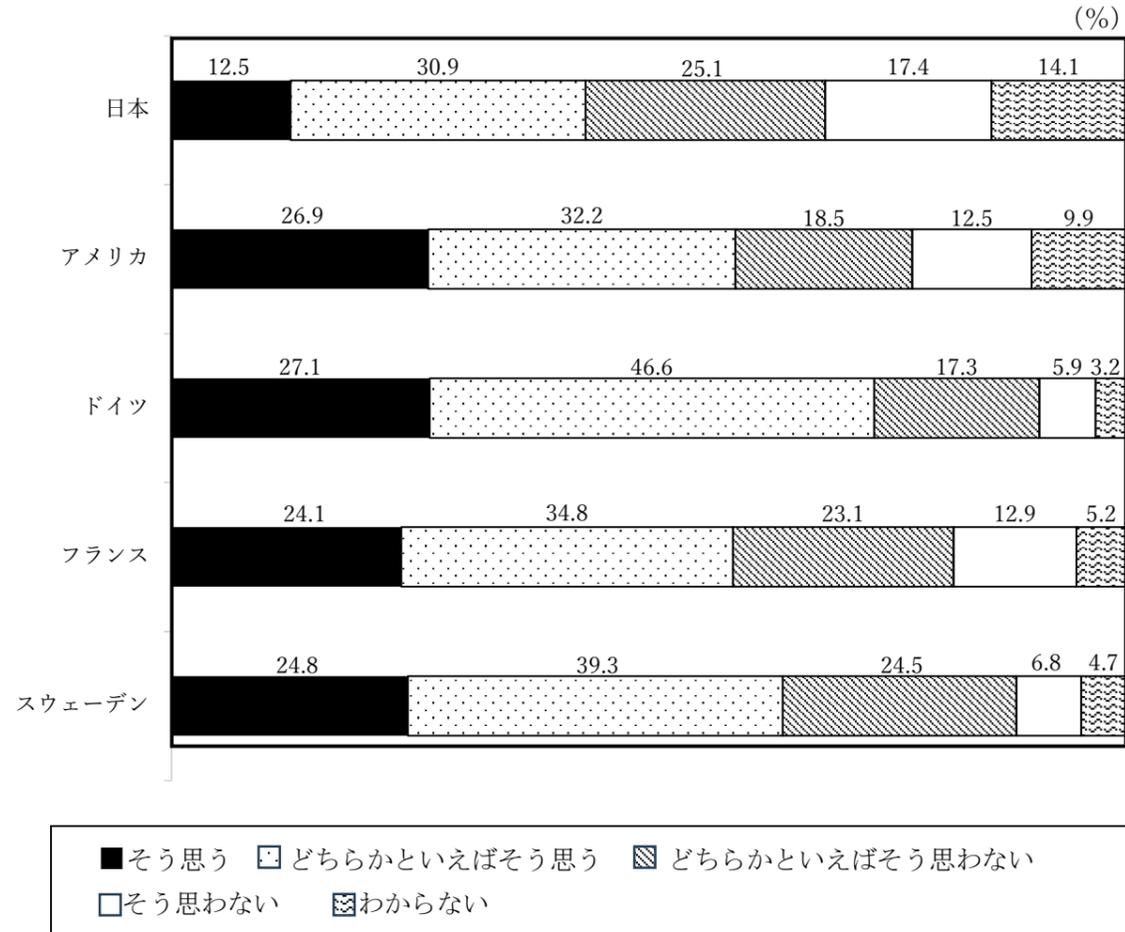


(以下の余白は下書きに使ってください。)

令和7（2025）年度 津市立三重短期大学一般選抜入学試験問題（小論文）

下の図は、「社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい」という質問に対して、日本と諸外国の子ども・若者がどのように回答したのか、その割合を示したものです。

図 「社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい」という質問に対して日本と諸外国の子ども・若者がどのように回答したのかの割合



出典：子ども家庭庁「令和5年度 我が国における子どもをめぐる状況及び政府が講じた子ども施策の実施状況」（令和6年版子ども白書）を一部改変。子ども・若者の年齢は満13歳から満29歳の男女である。図の数字の単位の繰上げは、原則として、四捨五入によっている。単位の繰上げのため合計が100%とならない場合がある。

【設問】「社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい」という質問に対して、他国と比較して日本の子ども・若者がどのように回答したのか、その割合の傾向を指摘し、それについてのあなたの意見を400字以内で記述しなさい。